

フッ素樹脂コーティング ステンレス・ストレートシームダクト

半導体・化学・薬品工場など各種工場向け

内面に各種フッ素樹脂をコーティングした高耐食性ダクト

<特長>

- ・ご使用条件に応じてECTFE、ETFE、PFAなど、様々なコーティング剤を選定して頂けます。
- ・ステンレスダクト内面のコーティングにより耐薬品性、耐熱性が向上します。
- ・一般的な鋼管に比べ薄肉での製作、ご採用も可能なため、軽量化により施工コストが削減出来ます。

製造規格

- ・本管材質：SUS304
- ・製作範囲：100φ～2200φ
- ・板厚：0.8t以上
- ・直管長さ：最長2m



「FM4922認証」を取得した製品もご用意しております

FM4922認証とは

- ・アメリカの損害保険会社「FM Global社」が中心となって運営、推奨しており、アメリカでは一般的な火災防止の認証規格です。
- ・防火に対する優れた安全性と品質を有する規格として、アメリカをはじめヨーロッパやアジアでも広く受け入れられています。

製造規格(FM認証範囲)

- ・本管材質：SUS304
- ・板厚：1.5t以上
- ・直管長さ：最長2m
- ・塗料：ヘイラー®ECTFE
- ・製作範囲：200φ～1500φ

FM認証並びに製作・塗装仕様、製造規格等の詳細については別途お問い合わせ下さい。

KURIMOTO

安全のため必ずお守り下さい

※取り付け前に、下記の事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けして下さい。

※下記に示した事項は、安全にお使い頂く為の重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると人がケガをする可能性及び物的損害が発生すると想定される内容を表示しています。
-  『禁止』を意味します。
-  『分解禁止』を意味します。
-  『重要事項』を意味します。

※施工完了後、注意事項が守られているか確認の上、試運転を行い異常がないか確認して下さい。また貴社製品の付属部品としてお取り扱い頂く場合は、貴社製品施工説明書若しくは貴社作業標準に下記の注意事項の記載内容を包含して下さい。

-  **警告**  ◆長尺物をお取り扱いの際には、周囲をご確認の上、荷揚げ、荷下ろし、取り回しを行って下さい。取り扱いを誤ると、ケガをする恐れがあります。
- ◆塗装被膜が破損されますので、長さ調整等の切断をしないで下さい。
 - ◆端部は鋭利な刃物と同様ですので、直接、当たるとケガをする恐れがあります。顔などを絶対に近づけないで下さい。
 - ◆取り付け時は、転倒、つい落、製品落下等がないように充分安全に気をつけて行って下さい。
 - ◆必要な保護具(安全靴、保護メガネ、防塵マスク、手袋、作業着等)を着装の上、作業を行って下さい。ケガをする恐れがあります。
 - ◆労働安全衛生法、建築基準法等、その他法令、条例等に従って設計・施工して下さい。
 - ◆空調製品ですので、それ以外の用途に使用しないで下さい。また、予め打合せされた用途、範囲内でご使用してください。製品の破損及び劣化の原因となります。
-  ◆製品の過度の重ね置きはしないで下さい。変形・破損の恐れがあります。
-  ◆異常に高温になる場所、使用制限を超える温度になる場所や 使用制限を超える通風温度でのご使用はしないで下さい。発火・火災と製品の破損及び劣化の原因となります。
- ◆改造はしないで下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
-  **注意**  ◆製品・部品の取り付けは確実に行って下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。
-  ◆梱包されている製品を開封する際は、カッター等で製品を傷つけないように注意して下さい。製品が破損する原因となります。
-  ◆できるだけ接続部の近くで吊るようして下さい。製品が破損する原因となります。
- ◆現場で定めた吊りピッチ、吊り方法で施工してください。
- ◆ご使用・施工時には下記の事項にご注意下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
- ①ダクトのサポート(吊り)ピッチは、ダクトの重量を充分に考慮した上で施工してください。製品の破損、劣化の原因となります。また、製品の落下等によりケガをする場合があります。
 - ②製品どうしの接触、他のものとの接触を避けて下さい。錆や結露の原因となります。
 - ③縦管でのご使用の場合は自重で破損しないよう適度なサポートをとって下さい。
 - ④製品の近くで溶接作業をする場合は、充分な養生を行い、溶接火花や、熱の影響がないようにして下さい。
-  ◆製品を踏みつけたり、乗ったり、投げたり、ものに当たったりしないで下さい。破損、変形の恐れがあります。また転倒したり、当たったりしてケガをする恐れがあります。
- ◆外面、内面に剥離、孔等がある場合は、施工前にお申し付け下さい。
- ◆ご使用・施工時には下記の事項にご注意下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
- ①使用範囲を超える風速でのご使用はしないで下さい。
 - ②製品には、機器等の重みが一切かからないように施工して下さい。
 - ③製品に影響をおよぼす著しい振動がある場所での使用は避けて下さい。
 - ④製品に強い衝撃を与えたり、落としたり、投げたりしないで下さい。
 - ⑤異種金属と接触しないように施工して下さい。錆や腐食の原因となります。
 - ⑥錆や結露の原因となる接触は避けて下さい。

免責事項

※下記のような場合には保証対象外となります。

- ◆弊社発行のカタログ、施工要領書に記載された事項に従わない設計・施工により不具合が生じた場合。
- ◆製品が変質・変形する恐れのある場所で使用された場合、及び変質・変形の恐れのある施工がなされた場合。
- ◆天変地異(天災・台風・洪水・地震・落雷・つらら等)による損傷。
- ◆施工により生じた製品の不具合
- ◆釘部、ネジ部の錆やもらい錆に起因する不具合。
- ◆弊社の製品以外の部材による不具合。
- ◆建物自体の変形や変位により生じた不具合。
- ◆他の工事が原因による不具合の場合。
- ◆本カタログの内容を無視した保管・取り扱いによる不具合。
- ◆初期の損傷ないし不具合を長期放置したために生じた拡大損傷。
- ◆製品または部品の経年変化により変褪色、微細なひび割れ等が生じた場合。
- ◆犬・猫・鳥・鼠などの動物や昆虫などに起因する不具合。
- ◆暴動・テロ活動等の不可抗力により発生した損傷。

株式会社 栗本鐵工所

建材事業部

本社	〒550-8580	大阪市西区北堀江1丁目12番19号	TEL (06) 6538-7705	Fax. (06) 6538-7755
東京支社	〒108-0075	東京都港区港南2丁目16番2号	TEL (03) 3450-8555	Fax. (03) 3450-8560
北海道建材営業課	〒063-0835	札幌市西区発寒15条12丁目4番10号	TEL (011) 661-6781	Fax. (011) 661-6783
東北支店	〒980-0014	仙台市青葉区本町1丁目12番30号	TEL (022) 227-1882	Fax. (03) 6771-8646
名古屋支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南1丁目17番23号	TEL (052) 551-6934	Fax. (052) 551-6935
中国支店	〒730-0035	広島市中区本通7番19号	TEL (082) 247-4134	Fax. (082) 247-4004
九州支店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1丁目3番11号	TEL (092) 451-6626	Fax. (092) 471-7696

※当カタログ掲載の仕様等は、改良のため予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。

※当カタログ記載の内容は、一般的な情報の提供を目的とするものです。細心の注意のもとに作成していますが、必ずしも保証を意味するものではありません。

※無断転載・複製を禁じます。